

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

静岡市地域セミナー 報告書

2019（令和元）年6月10日（月）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」静岡市地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方26名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年6月10日（月）15時00分～16時30分

会場：静岡市教育センター 2階研修室

主催：静岡市教育センター、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：26名

プログラム：

15:00～15:10 開会挨拶

静岡市教育センター 指導主事 黒柳 哲也 氏

15:10～15:20 事業説明

静岡市教育センター 指導主事 友田 未由紀 氏

15:20～15:40 アスリート派遣について

静岡市スポーツ交流課 担当者

14:30～15:10 オリンピック・パラリンピック教育について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

深見 英一郎 氏

岡田 悠佑 氏

15:10～15:25 実践事例紹介

パナソニック株式会社 担当者

15:25～15:30 閉会挨拶

開会行事では、静岡市教育センターの黒柳氏より挨拶がありました。静岡市は、本事業を通して、子どものスポーツの価値に対する認識を高めていきたい、と本事業への期待を述べられました。続いて、静岡市教育センターの友田氏より、事業説明が行われました。サッカーをはじめとする多くのスポーツ種目でトップアスリートを輩出している静岡市では、本事業においてオリンピック・パラリンピックをめざす選手や指導者との交流を通して、世界に目を向けるとともに地域の良さを発見することができるグローバルな人材の育成を目指していきたい、と静岡市が本事業で目指す方向性が示されました。そして、具体的な目指すべき子ども像として、「難しいことでも挑戦する子ども」と「スポーツを『する・みる・支える・知る』などのやり方で楽しむ子ども」という2つの目標を提示されました。



黒柳氏の挨拶



友田氏の講義

次に、静岡市のスポーツ交流課の方から、推進校に提供するアスリートの派遣に関連した以下の4つのプログラムの紹介がありました。1つ目の「アスリートとの交流とパラスポーツ体験」は、ボッチャ、パラ陸上、パラバドミントン、ウェイトリフティングの4種目を行うプログラムです。2つ目の「異文化理解、交流」は、台湾のご飯作り、スペインのご飯作り、台湾陸上選手等との交流というプログラムです。3つ目の「ローラースポーツ体験」は、静岡市内のローラースポーツが行える施設で選手に指導を受けながらローラースポーツを行うプログラムです。4つ目の「ラグビーアスリートとの交流」は、2019年9月に開催されるラグビーワールドカップの合宿に合わせて来日するラグビー選手と交流するプログラムです。

続いて、本センターの岡田研究員より、事業概要やこれまでの実践事例の紹介が行われました。実践事例では、各校種ごとに、体育・保健体育科と関連づけた実践やそれ以外の教科と関連づけた実践、さらには、特別活動等と関連づけた実践等、様々なオリンピック・パラリンピック教育の実践方法について紹介されました。また、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）や「I'mPOSSIBLE」（JPC、パラリンピックサポートセンター）等のオリンピック・パラリンピック教育用教材やパラリンピアンのパラスポーツへの想いや考えを描いた「WHO I AM」等の映像資料も紹介されました。また、今年度から推進校の児童・生徒を対象としたアンケート調査を実施するという事で、実施方法についての説明も行われました。



スポーツ交流課の方の講義



岡田研究員の講義

最後に、パナソニック株式会社の方から、パナソニック株式会社が行っている「オリンピック・パラリンピックに関する学び支援」について紹介がありました。30年以上にわたってオリンピックのワールドワイドパートナーを務めるパナソニック株式会社が蓄えてきた情報を盛り込んだオリンピック・パラリンピック教育に関連する教材や実践事例を紹介されました。